

メリバ(争い)の水 the water of Meribah (民数記 20:1~14)



イスラエルの人々、その共同体全体は、第一の月(→3月中~4月中頃)にツインの荒れ野に入った。そして、民はカデシュに滞在した。

(モーセの姉)ミリアムはそこで死に、その地に埋葬された。さて、そこには共同体に飲ませる水がなかったので、彼らは徒党を組んで、モーセとアロンに逆らった。

民はモーセに抗弁して言った。

「同胞が主の御前で死んだとき、我々も一緒に死に絶えていたらよかったのだ。なぜ、こんな荒れ野に主の会衆を引き入れたのです。我々と家畜をここで死なせるためですか。なぜ、我々をエジプトから導き上らせて、こんなひどい所に引き入れたのです。ここには種を蒔く土地も、いちじくも、ぶどうも、ざくろも、飲み水さえもありませんか。」

モーセとアロンが会衆から離れて臨在の幕屋の入り口に行き、そこにひれ伏すと、主の栄光が彼らに向かって現れた。

主はモーセに仰せになった。

「あなたは(アロンの)杖を取り、兄弟アロンと共に共同体(→人々)を集め、彼らの目の前で岩に向かって、『水を出せ』と命じなさい。あなたはその岩から彼らのために水を出し、共同体と家畜に(欲しいだけ)水を飲ませるがよい。」

(そこで)モーセは、命じられたとおり、(至聖所の)主の御前から杖を取った。そして、モーセとアロンは会衆を岩の前に集めて言った。

「反逆する者らよ、聞け。この岩からあなたたちのために水を出さねばならないのか(→わからず屋ども。この岩から水を出してやるから、ありがたく思いなさい。)(と言うと)モーセが手を上げ、(杖を振り上げて、)その杖で岩を二度打つと、水がほとばしり出たので、共同体も家畜も(大喜びで水を)飲んだ。

(ところが)主はモーセとアロンに向かって(叱り)言われた。

「あなたたち(→モーセと兄アロン)は(岩に向かって、『水を出せ』と命じなさいと言った)わたしを信じることをせず(愚かにも、杖で岩を二度も叩き)、イスラエルの人々の前に、わたしの聖なることを示さなかった。それゆえ、あなたたちはこの会衆を、わたしが彼らに与える土地に導き入れることはできない。」

これがメリバ(争い)の水であって、イスラエルの人々が主と争った所であり、主が御自分の聖なることを示された所である。



【参考】アロンの死

タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数: 3 / 聖句等の総数 33250 (アロン)4個(死んだ)3個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙: アロン・死んだ]
K 民数記	20:28 モーセはアロンの衣を脱がせ、その子エルアザルに着せた。アロンはその山の上で死んだ。モーセとエルアザルが山を下ると、	
K 民数記	33:38 祭司アロンは、主の命令によってホル山に登り、そこで死んだ。イスラエルの人々がエジプトの国を出て第四十年の第五の月の一日であった。	
K 民数記	33:39 ホル山で死んだとき、アロンは百二十三歳であった。	